

日本分析化学会九州支部

支 部 ニ ュ ー ス

第 28 号 2013 年 7 月



九州支部ウェブサイト
http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/

2013 年度 日本分析化学会九州支部
〒816-8580 福岡県春日市春日公園 6-1
九州大学大学院総合理工学研究院

支部活動報告

❖ 2013 年度 九州分析化学会賞 ❖

❖ 2013 年度 第 1 回常任幹事会 ❖

2013 年 6 月 29 日（土）、九州大学筑紫地区先導物質化学研究所中央棟 108 会議室において日本分析化学会九州支部 2013 年度第 1 回常任幹事会が開催されました。議事録については準備ができ次第、支部ウェブサイトに掲載いたしますのでご覧下さい。

❖ 第 26 回 九州分析化学若手の会 春の講演会 ❖

主催：九州分析化学若手の会、日本分析化学会九州支部

世話人：九州大学大学院理学研究院 岡上 吉広

2013 年 5 月 25 日（土）、九州大学箱崎キャンパス国際ホールにおいて、第 26 回九州分析化学若手の会春の講演会が開催されました。支部長の挨拶に始まり、以下の 4 名の先生方にたいへん興味深いご講演をいただきました。講演終了後、次期 2014 年（第 27 回）の春の講演会世話人である野間誠司先生（九大院農）と、2013 年夏に開催予定の第 31 回夏季セミナー世話人である岸川直哉先生（長大院医歯薬）から予告があり、引き続いて情報交換会を催しました。講演会には 108 名、情報交換会にも 19 名の参加者がありました。

講師・講演題目

- （九大院理）宇都宮 聡 「放射性核種移行挙動を支配するナノスケールプロセスの解明」
（アサヒ GH(株)）望月 直樹 「食の安全における LC-MS/MS、TOF-MS の活用」
（京大原子炉実験所）小林 康浩 「 ^{197}Au メスバウアー分光による金ナノクラスターの研究」
（福岡大理）脇田 久伸 「X 線状態分析と物質創成」
（敬称略）

選考委員会による審査の結果、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科の甲斐雅亮教授が 2013 年度九州分析化学会賞の受賞者に決定いたしました。受賞題目は「タンパク質及び核酸の蛍光・化学発光検出法の開発と病態診断への応用」です。甲斐先生には秋の支部講演会での講演をお願い致しますと共に、今後とも、九州支部の発展のためにお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

❖ 2013 年度 九州分析化学奨励賞 ❖

選考委員会による審査の結果、2013 年度九州分析化学奨励賞の受賞者は以下の 5 名に決定いたしました。おめでとうございます。受賞者の皆さまには今後の発展と共に、分析化学会および九州支部への貢献を期待いたします。また、次年度も会員の皆様からの本奨励賞への積極的な応募をお願いいたします。

受賞者・受賞題目

- ・伊藤 華苗（福岡大学大学院理学研究科）
「メソ空間における水および水溶液の熱的性質、構造とダイミクス」
- ・川本 大祐（九州大学大学院理学府）
「X 線吸収分光法と ^{197}Au Mössbauer 分光法を組み合わせた担持 Au 触媒の状態分析法の構築とその応用」
- ・サレンチチグ（九州大学大学院理学府）
「Analytical application of solid phase to micro and speciation analysis (微量分析およびスペシエーション分析への固相の応用)」
- ・富田 健太郎（九州大学大学院総合理工学府）
「金ナノ粒子の蛍光を利用した新規硫酸イオン検出法の開発」
- ・二村 朱香（熊本大学大学院自然科学研究科）
「大環状化合物修飾 DNA と有機小分子の協同的塩基認識」

（敬称略・順不同）

行事案内

❖ 第50回 化学関連支部合同九州大会 ❖

共催：(公社)日本分析化学会九州支部ほか7化学関連支部

期日：2013年7月6日(土)9:00~16:30

会場：北九州国際会議場および AIM ビル

2013年度は第50回に当たり、50周年記念特別講演が以下のとおり開催されます：

- 玉尾 皓平 先生
(独)理化学研究所 基幹研究所所長
「深化・拡大する有機元素化学 — 新たな立体保護基, “Rind 基, の開発と新展開—」
- 神谷 信夫 先生
大阪市立大学・複合先端研究機構/理学研究科
「光合成の水分解酸素発生中心・ $Mn_4CaO_5(H_2O)_4$ クラスターの構造」

プログラム：

ポスターセッション(分析化学分野 9:50 - 11:50)

1_2.001~1_2.055 まで計 55 件

他のセッション等については、大会ホームページ(<http://www.moji-retro.net/godo50/>)をご覧ください。

2013年度九州分析化学ポスター賞の受賞者は、審査の結果以下の4名に決定いたしました。おめでとうございます。受賞者の皆さまには今後の更なる発展を期待いたします。

- 梶山 祥太(九大院理)「沖縄島における鍾乳石から抽出した古植生情報」
- 寺田 侑平(九大院工)「糖鎖高分子ナノゲル粒子を用いた構造色バイオセンサー」
- 池田 知弘(九工大院情報工)「ピオチンリガゼと基質タンパク質間の相互作用を利用したピオチン及びATP検出システムの開発」
- 川越 亮介(九大院薬)「AMコンタクト機構に伴う蛍光レシオ変化を応用した細胞内硫化水素の蛍光イメージング」

(敬称略・順不同)

❖ 第31回 九州分析化学若手の会 夏季セミナー ❖

主催：九州分析化学若手の会、日本分析化学会九州支部

期日：2013年7月26日(金)–27日(土)

会場：長崎ホテル清風 〒852-8005 長崎県長崎市大鳥町 523 TEL：095-861-8181

URL：<http://nagasaki-seifu.jp/>

内容：分析化学に関する若手研究者間の勉強会、講演
HP：<http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/lab/analysis/wakate31/index.html>

第31回九州分析化学若手の会 夏季セミナーを以下の要領で開催いたします。奮ってご参加下さい。元・自称「若手」の方、九州圏外にお住まいの方の参加も歓迎いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

- 総会
- 平成25年度九州分析化学奨励賞授与式
- 同賞受賞講演
- 模範ポスター発表(第50回化学関連支部合同九州大会九州分析化学ポスター賞受賞者)
- 招待講演1(日本分析化学会北海道・九州支部若手の会交流事業)：
中谷 暢丈先生(酪農学園大学農食環境学群)「イオン排除/陽イオン交換型イオンクロマトグラフィによる陰陽イオン類の同時分析の進展」
- 招待講演2：
小野 正博先生(京都大学大学院薬学研究科)「アルツハイマー病の生体分子イメージング」
- 一般ポスター発表(優秀ポスター発表者には九州分析化学若手賞が授与されます)

参加費：一般 ¥8,500、会員学生：¥7,500、
非会員学生：¥8,500

申込方法：以下の項目を記載の上、
wakate31@ml.nagasaki-u.ac.jp宛にメールにてお申し込みください：

☆所属・研究室名 ☆連絡代表者とその連絡先
☆連絡代表者を含めた参加人数 ☆連絡代表者を含めた参加者全員についての情報一氏名、ふりがな、性別、学年(職位)、身分(一般/学生会員/学生非会員)、ポスター発表の有無、メールアドレス

参加・発表申込締切：平成25年7月1日(月) 定員170名になり次第締め切ります。

問合せ：〒852-8521 長崎市文教町 1-14 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科・薬学部 岸川 直哉
〔TEL: 095-819-2445; FAX: 095-819-2446、
e-mail: kishika@nagasaki-u.ac.jp〕

❖ 第 54 回 分析化学講習会 ❖

主催：(公社) 日本分析化学会九州支部
共催：福岡市、九州大学学術研究都市推進機構、日本化学会九州支部、電気化学会九州支部、日本薬学会九州支部、日本食品科学工学会西日本支部、日本農芸化学会西日本支部、日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部、日本臨床化学会九州支部、日本水環境学会九州支部、福岡県環境計量証明事業協会
期日：8月7日(水)～9日(金)
会場：九州大学伊都キャンパス、福岡市産学連携交流センター

講義：(8月7日、9:30～17:00、福岡市産学連携交流センター 交流ホール)

1. ガスクロマトグラフィー (九大院農) 下田満哉
2. 高速液体クロマトグラフィー (九大院薬) 浜瀬健司
3. 原子・分子スペクトル分析 (九大院理) 横山拓史 (九環協) 天日美薫

実習：(8月8日・9日、9:30～16:30、九州大学伊都キャンパス EN41 棟 (101 号室、102 号室)、ウエスト 2 号館 704・705 号室、九州大学中央分析センター) (各日 1 コース、2 日間で計 2 コースを選択)

1. ガスクロマトグラフィー(GC) 【EN41 棟 (101 号室)】 (九大院農) 下田満哉・井倉則之
 - A. 化合物の同定 (保持指標、マススペクトル)
 - B. 定量分析 (内標準法)
 - C. 試料導入法 (スプリット法、スプリットレス法)
 - D. 香気成分のサンプリング (固相マイクロ抽出法)
 - E. 食品の香気成分分析 (GC-MS 法)
2. 高速液体クロマトグラフィー (HPLC) 【ウエスト 2 号館 704・705 号室】 (九大院薬) 浜瀬健司 (福大薬) 巴山 忠

- A. 逆相 HPLC の基礎実習と実試料分析 (医薬品・化粧品分析)
- B. HILIC モードの基礎実習と実試料分析 (農薬分析)
- C. HPLC 用超純水製造装置
- D. HPLC 機器の内部構造とメンテナンス
- E. 自動プレカラム誘導体化によるアミノ酸の高速分析
- F. 簡易固相抽出器による自動ハイスループット前処理
- G. HPLC カラム充填材の選択—微量サンプル分析からセミ分取・大量分取まで—
- H. セミマイクロ・マイクロ HPLC を用いる省溶媒・高感度分析
- I. 陰イオン交換クロマトグラフィー/電気伝導度検出器による陰イオンの高感度分析
- J. 高分解能質量分析計による LC-MS、IC-MS 分析
- K. 超臨界流体クロマトグラフィー(UPC2)-MS/MS システムによる超高速・高性能分析
- L. 超臨界流体クロマトグラフィー/円二色性検出法を用いたキラル分離

3. 原子・分子スペクトル分析 (AAS) 【EN41 棟 (102 号室)】 (九大院理) 横山拓史・岡上吉広

- A. 微量成分分析のための基礎 (講義)
- B. フレーム原子吸光法における化学干渉とその除去
- C. 水素化物発生—石英炉原子吸光法による砒素の分析 (酸化数別定量)
- D. 吸光光度法による鉄の分析 (酸化数別定量)

4. 誘導結合プラズマ質量分析 (ICP-MS) 【EN41 棟 (102 号室)】 (九環協) 天日美薫

- A. 固相抽出等の前処理
- B. ICP-MS による微量分析

ランチョンセミナー：(8月8日・9日、12:00～13:00)

情報交換会：(8月8日、16:45～18:45、九州大学伊都キャンパス ビッグドラ)

使用機器：島津製作所、日本分光、日立ハイテクノロジーズ、日本ダイオネクス、ジェイ・サイエンスラボ、東ソー、ジーエルサイエンス、エムエス機器、資生堂、日本ウォーターズ、オルガノ、メ

ルクミリポアの提供による最新機器

参加費：主催・共催会員 30,000 円、会員外 40,000 円、学生 10,000 円

申込方法：申込の件名を“第 54 回分析化学講習会申込”として、以下の項目(①～⑤)を明記し、E-mail でお申し込み下さい (FAX も可)。当方から受付番号をお知らせしますので、参加費を下記口座にお振込み下さい。その際、振込み人氏名の前に受付番号を必ず記入して下さい。①受講者氏名、②所属、③連絡先 (郵便番号、住所、TEL、FAX、E-mail)、④第 1、第 2 希望の実習コースの組み合わせ (1. GC, 2. HPLC, 3. AAS, 4. ICP-MS の 4 コースから 2 コースを選択)、⑤所属する主催および共催学協会 (複数回答可)

注意：a. やむを得ない事情により、プログラムの一部を変更することがあります。変更が生じた際は日本分析化学会九州支部 HP にて公開いたします。b. 各実習コースは定員制ですので、お早めにお申し込み下さい。また、実習コースがご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。c. 参加費の入金の確認をもって申し込みを受理いたしますので、参加者の名前を必ず記載して下さい。d. 会員には、勤務先が維持会員、特別会員、公益会員に所属する方も含みます。e. いったん納入された参加費の払い戻しは致しません。

申込締切：7 月 12 日 (金)

□ 座 名義：第 54 回分析化学講習会事務局
くゆうちょ銀行からの振込 > ゆうちょ銀行
17490-34236961
く他行からの振込 > ゆうちょ銀行 金融機関コード:9900, 店番:748, 預金種目：普通, 店名：七四八店(ナナヨンハチ店), 口座番号:3423696

申込先：〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学大学院 農学研究院 生命機能科学部門 食品製造工学研究室内 第 54 回分析化学講習会事務局 [E-mail : bunkou54@agr.kyushu-u.ac.jp, FAX : 092-642-3016]

問合せ先：〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学大学院 農学研究院 生命機能科学部門 食品製造工学研究室

実行委員長 下田満哉 (TEL&FAX : 092-642-3015)
庶務幹事 井倉則之 (TEL&FAX : 092-642-3016)
会計幹事 野間誠司 (TEL&FAX : 092-642-3018)

❖ 第 12 回アジア分析化学会議 (Asianalysis XII) ❖

期日：2013 年 8 月 22 日 (木) ~ 24 日 (土)
会場：九州大学馬出キャンパス医学部百年講堂

開催シンポジウム

- The 2013 China-Japan-Korea Symposium on Analytical Chemistry (CJK 2013)
オーガナイザー：佐藤 博 (長崎国際大学)
- The Third Symposium for Education of Analytical Chemistry (AACN)
オーガナイザー：渡會 仁 (大阪大学)
- International Symposium on Environmental Science and Technology in Asia (ESTA)
オーガナイザー：今坂藤太郎 (九州大学)

登録・講演申込状況

- 登録者数 (6 月 24 日 (月) 時点)
286 名 (招待：34 名、一般：135 名、学生：99 名) ; 内訳 (日本国籍：148 名、外国籍：120 名)
- 講演予稿提出者数
236 件 ; 内訳 (プレナリー：3 件、キーノート：7 件、インバイト：15 件、口頭講演：78 件、ポスター講演：122 件、未定：11 件)
- シンポジウム講演予定数
CJK2013 口頭：約 30 件、ポスター：約 30 件
AACN 招待：3 件、一般：8 件
ESTA 招待：6 件、一般：5 件
シンポジウム講演総数
口頭：約 50 件、ポスター：約 30 件

Organizing Committee ;

Totaro Imasaka, Kyushu University (Chairperson)
Sunao Yamada, Kyushu University
Yoshiki Katayama, Kyushu University
Naotoshi Nakashima, Kyushu University
Toshihiko Imato, Kyushu University
Koji Nakano, Kyushu University
Shin-ichi Zaitzu, Kyushu University (Secretary)
Yuichiro Kida, Kyushu University

Correspondence :

Shin-ichi Zaitzu (Dept. of Applied Chemistry,
Graduate School of Engineering, Kyushu University)
744, Motooka, Nishi-ku, Fukuoka, 819-0395
TEL :+81-92-802-2884 / Fax :+81-92-802-2888
E-mail : s-zaitzu@cstf.kyushu-u.ac.jp

詳しくはウェブサイトをご覧ください :

<https://conv.toptour.co.jp/shop/evt/asianalysis/>

❖ 日本分析化学会第 62 年会 ❖

期日 : 2013 年 9 月 10 日 (火) ~12 日 (木)

会場 : 近畿大学東大阪キャンパス (大阪府東大阪市)

9 月 10 日 : 依頼講演 (口頭), 一般講演 (口頭),
若手講演 (ビギナー口頭, ポスター), テクノレ
ビュー講演 (口頭), 受賞講演, 研究懇談会講演,
特別シンポジウム, ランチョンセミナー, ミキサ
ー

9 月 11 日 : 一般講演 (口頭), 若手講演 (ビギナー
口頭), テクノレビュー講演 (口頭), 研究懇談
会講演, 特別・公開シンポジウム, 学会賞等授賞
式, 受賞講演, 懇親会, ランチョンセミナー

9 月 12 日 : 一般講演 (口頭, ポスター), 若手講演
(ビギナー口頭), 研究懇談会講演, 特別・公開



シンポジウム

特別シンポジウム「諸科学のなかの分析化学」:

1. 地球・環境・放射能と分析化学
2. 医学・薬学と分析化学
3. 計算科学と分析化学
4. 社会科学と分析化学

公開シンポジウム:

1. 基礎科学のなかの分析化学教育
2. ものづくりを支える分析化学

注) タイトルは変更になることがあります

日本分析化学会第 62 年会実行委員会事務局

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江 3-4-1

近畿大学薬学部 薬品分析化学研究室内

Tel: 06-6730-5880 ダイヤルイン 5550,

Fax: 06-6721-2353

E-mail : nenkai62@gmail.com

<http://conference.wdc-jp.com/jsac/nenkai/62/>

詳しくはウェブサイトおよび「ぶんせき」をご覧ください



事務局より

❖ 支部招待講演会・見学会 ❖

2013年支部講演会・見学会は田嶋 晴彦 副支部長（化学物質評価研究機構久留米事業所）が中心となり準備を進めています。本年度は、11月上旬、化学物質評価研究機構久留米事業所（久留米市宮の陣3-2-7）の予定です。詳細が決まり次第、支部ウェブサイトにてご案内いたしますので、お楽しみに。

❖ Analytical Sciences 誌等への投稿のお願い ❖

国際的に認知された論文誌は、会員と学会にとって重要なだけでなく、我が国の優れた研究成果を発信して世界的なプレゼンスを高めます。Analytical Science 誌は、優れた学術論文・総説を掲載し、併せて国際的な認知度を向上させる取り組みを行っています。例えば、J-STAGEによるオープンアクセス化、メールマガジンなどがあります。毎月各号の“Hot Article”選定と表彰、年間最多引用論文賞—“Most Cited Paper Award of Analytical Sciences”も好評を頂いています。投稿は完全に電子化され、スムーズかつ短期間のうちに成果を公開できます。良い研究論文はぜひ Anal. Sci.誌へご投稿ください。他のジャーナル等に投稿される場合も Anal. Sci.誌の論文を引用頂けましたら幸いです。Anal. Sci.誌の国際プレゼンス向上に、皆様方のご協力をお願いいたします。また、「分析化学」などの他誌も可愛がっていただき、機会があればご投稿ください。

❖ 2013年度カレンダー ❖

本年度の支部関連行事は以下の通りです。予定中の行事の日程については変更の場合もありますので、随時ご確認ください。

- 機器分析ワークショップ（実施済の分のみ）：
大分大学工学部、5月23日(木)
九州工業大学戸畑キャンパス、5月24日(金)
- 九州分析化学若手の会春の講演会（九州大学箱崎キャンパス）：5月25日（土）
- 九州分析化学会賞・奨励賞選考委員会（九州大学筑紫地区）：6月1日（土）
- 化学関連支部合同大会（北九州市）：7月6日（土）

- 第一回常任幹事会（九州大学筑紫地区）：
6月29日（土）
- 九州分析化学若手の会夏季セミナー（長崎市）：
7月26（金）- 27日（土）
- 分析化学講習会（九州大学伊都キャンパス、福岡市産学連携交流センター）：8月7(水)- 9日(金)
- 第12回アジア分析化学会議（Asianalysis XII）（九州大学馬出キャンパス）：
8月22日（木）- 24日（土）
- 分析化学会年会（近畿大学 東大阪キャンパス）：
9月10（火）- 12日（木）
- 学会賞等候補者推薦委員会・幹事会（九州大学筑紫地区）：11月上旬
- 講演会・見学会（久留米市）：11月上旬
- 第二回常任幹事会（九州大学筑紫地区）：2014年2月

❖ 入会を歓迎します ❖

あなたのお近くに日本分析化学会への入会を考えていただけそうな方がいらっしゃいませんか？是非、入会をお誘い下さい。支部の事務局へご連絡頂ければ入会案内をお送りします。また、入会ご検討中の方に対しては、要望すれば機関紙の見本を学会本部からもらえるそうです。日本分析化学会の会員拡充にどうぞご協力下さい。

❖ 編集後記 ❖

梅雨も明けて、上空には50年来見慣れた真夏の青空が広がっています。今年の鹿児島は降灰が少なく、皆様が2012年の討論会で経験されたドカ灰はまだありません。巷には参議院選挙の広報車も走るようになりました。山積した難問をたちどころに解決してくれる魔法使いはいないのでしょうか。ついでに大学に押し寄せる教育改革の大波も。本年も支部ニュースは年2回の発刊を予定しており、次の29号は2014年2月頃に電子版で配信致します。支部ニュースへのご意見、掲載されたい記事等がございましたらお気軽にご連絡ください。これから夏本番となり暑い日が続きますが、どうぞ御自愛の上、仕事・勉強に励んでください。（副支部長・吉留）



2013 年度 日本分析化学会九州支部 事務局

〒 816-8580 福岡県春日市春日公園 6-1 九州大学大学院総合理工学研究院
TEL 092-583-7552

支部長	原田 明 (九州大学大学院総合理工学研究院) harata@mm.kyushu-u.ac.jp / 092-583-7552
副支部長	吉留 俊史 (鹿児島大学大学院理工学研究科) tome@apc.kagoshima-u.ac.jp / 099-285-8341
副支部長	田嶋 晴彦 (化学物質評価研究機構久留米事業所) tajima-haruhiko@ceri.jp / 0942-34-1500
庶務幹事	石岡 寿雄 (九州大学大学院総合理工学研究院) ishioka@mm.kyushu-u.ac.jp / 092-583-7557
会計幹事	磯田 美紀 (九州大学大学院総合理工学研究院) satomiki@mm.kyushu-u.ac.jp / 092-583-7553